

アメリカ哲学フォーラム/*American Philosophy Forum* 第5回大会プログラム
大会テーマ：プラグマティズムの越境的展開

日時：2018年6月23日（土）・24日（日）

会場：神戸大学文学部（神戸市灘区六甲台町／最寄り駅：阪急六甲）

共催：神戸大学人文学研究科・倫理創成プロジェクト

第一日目：6月23日（土）

10:30-12:30 **一般セッション（Ⅰ）** [会場：文学部 B 棟 231]

司会者：山根秀介（国立舞鶴工業高等専門学校・助教）

10:30-11:10 一般発表 (1) 林研（大阪保健医療大学・非常勤講師）

「ジェイムズの科学観と「宗教と科学」関係論」

11:10-11:50 一般発表 (2) 藤坂大佑（東洋大学大学院）

「ジェイムズ哲学における「感じ」の復権と身体経験の形成」

11:50-12:30 一般発表 (3) 清水友輔（中央大学大学院）

「後期ホワイトヘッド哲学における生成概念——その原子性と連続性について——」

10:30-12:30 **一般セッション（Ⅱ）** [会場：文学部 B 棟 232]

司会者：村田康常（名古屋柳城短期大学）

10:30-11:10 一般発表 (4) ジミー・エイムズ（大阪大学大学院）

「パースの「極端な」実念論と超多数性による連続体概念の定式化」

11:10-11:50 一般発表 (5) 入江哲朗（東京大学大学院）

「ベンジャミン・パースとその子供たち——19世紀米国科学思想史の諸相」

11:50-12:30 一般発表 (6) 佐古仁志（立教大学・兼任講師）

「パースにおける学習理論とその展開」

12:30-14:00 昼休憩 Lunch Break [12:30-13:40 運営委員会／文学部 B 棟 133]

[会員控え室／文学部 B 棟 234]

14:00- **ワークショップ「プラグマティズムの展開（Ⅰ）——フランス」** [会場：瀧川記念学会館二階会議室]

司会者：嘉指信雄（神戸大学）

14:00-15:45 **特別講演（Ⅰ）：檜垣立哉（大阪大学）**

「ドゥルーズとパース——連続性と記号」

特定質問者：小田桐拓志（金沢大学）大厩諒（中央大学）

16:00-17:45 **特別講演（Ⅱ）：Mathias Girel（マティアス・ジレル：仏／エコール・ノルマル）**

“Reception and Development of Pragmatist Thought in France: Just a Beginning?”

特定質問者：鈴木泉（東京大学）

18:00-20:00 **懇親会 Reception** [会場：瀧川記念学会館一階食堂]

第二日目 6月24日(日)

10:30-12:30 **一般セッション (III)** [会場: 文学部 B 棟 231]
司会者: 乗立雄輝 (東京女子大学)

10:30 - 11:10

一般発表 (7) 朱喜哲 (大阪大学大学院)
「ウィルフリッド・セラーズの規範性概念とその受容」

11:10-11:50

一般発表 (8) 梶原駿 (京都大学大学院)
「アメリカ哲学の日常性——ポール・スタンディッシュのカベル論を通じて」

11:50-12:30

一般発表 (9) 朱燁 (京都大学大学院・助教)
「**「**相関主義と思弁的实在論のあいだ——カヴェルの日常言語哲学の有効性」
」

10:30-12:30 **企画パネル・セッション** [会場: 文学部 B 棟 232]

「線画的推理の特徴としての図像性」
新茂之 (同志社大学・教授)・佐々木崇 (関西大学・非常勤講師)・
加藤隆文 (名古屋大学・日本学術振興会特別研究員 PD)

12:30-13:30 昼休憩 Lunch Break

13:30-14:00 **総会** [会場: 瀧川記念学会館二階会議室]

14:10-17:00

Symposium

Trans-Border Developments of Pragmatist Thought: China, Japan, America

(**プラグマティズムの越境的展開 ——中国・日本・アメリカ——**) (使用言語: 英語)

[会場: 瀧川記念学会館二階会議室]

第一部

提題-1: CHEN Yajun (陳亞軍 / Fudan Univ., Shanghai)

“Reception and Development of Pragmatist Thought in China: From Dewey to Brandom”

提題-2: KAZASHI Nobuo (Kobe Univ.)

“American Junctures in Modern Japanese Thought: Emerson, Thoreau, James, Dewey, ...”

第二部

提題-3 Steven FESMIRE (Visiting Professor, Middlebury College, VT: USA)

“Pragmatic Pluralism as ‘Experiments in Living Together’: From Dewey to Appiah and Kitcher”

討論者: 石田正人 (ハワイ大学) 小手川正二郎 (國學院大学) アントン・セビリア (九州大学)

司会者: 齋藤直子 (京都大学)

大会関連企画: マティアス・ジレル氏講演会

1) "Philosophical Trends in France Now: After Post-Structuralism"

日時: 2018年6月22日(金) 午後5時~

会場: 神戸大学文学部 A 棟 422 演習室

2) "Reception of Perfectionism in France: Emerson, Dewey, and Cavell"

日時: 2018年6月25日(月)

会場: 京都大学教育学研究科 (T.B.A)

[上記の二つの会に参加ご希望の方は、事前に、アメリカ哲学フォーラム事務局
(americanphilosophyforum@gmail.com) までメールにてご連絡ください]